

事業所における自己評価結果
(放課後等サービス 公表)

公表：令和6年3月6日

事業所名 児童発達支援 放課後等サービスセンター

評価項目	チェック項目	はい	どちらか	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導員定数等スペースとの関係で適切である	○			プライベート、訓練室、静寂室、学習室等、適切である。	
	② 職員の数配置は適切である	○			人数が足りていない。有休を調整している。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切に行われている	○			生活支援を推進し、障がい特性に応じた配慮を行っている。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加している	○			振り返り後に、業務改善の方向性を話し合っている。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者向け評価表を基に、職員間で話し合い、改善策を話し合っている。	
	⑥ この自己評価の結果も、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			事業所に掲示し、ホームページで公開している。	
適切な支援の提供	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○				現在行っていないが、今後前向きに検討している。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			定期的に伝達研修を行っている。	今後も、全職員が研修に参加し、サービスの向上に努めている。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子ども保護者のニーズや課題を把握し対応の上で、放課後等サービス計画を作成している	○			保護者の意向や発達課題を基に作成している。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を定期的に観察し、標準化したアセスメントシートを使用している	○			5領域に沿った標準化したアセスメントシートを使用している。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			全職員で専任・企画を行っている。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			月に、適応に合わせた活動内容を企画している。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を柔軟に対応して支援している	○			研修時などに活動内容、時間等を柔軟に対応している。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせたり放課後等サービス計画を作成している	○			児童支援や発達課題、課題等、利用者の状況に応じた計画を作成している。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	○			毎日、業務口話・口頭確認で確認・確認を行っている。	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	○			支援終了後に30分以内で支援の振り返りを行っている。	
⑰ 日々の支援に関して振り返りや記録をとり、支援の検証・改善につなげている	○			児童の成長や課題、課題等を振り返り、検証・改善を行っている。		
関係機関や保護者との連携	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断している	○			支援期間にモニタリングを実施し、目標設定・評価を行っている。	
	⑲ ガイドラインの趣旨の基本活動を複数組み合わせたり支援を行っている	○			個別支援計画に基づき、基本活動を複数組み合わせたり支援を行っている。	
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況や課題の最も関係する職員が参加している	○			児童発達支援事業所職員が参加し、関係機関との連携を図っている。	
	㉑ 学校の情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（出席時対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			状況に応じて行っている。	
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					
	㉓ 放課前に利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解が図れている	○			状況に応じて行っている。	
	㉔ 学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	○			状況に応じて行っている。	
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			状況に応じて行っている。	
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○				今後前向きに検討していく。
	㉗ 「地域自立支援」協議会等へ積極的に参加している					今後前向きに検討していく。
保護者への説明責任	⑳ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			日頃の、連絡帳や返答の口頭にて情報共有しながら行っている。	
	㉙ 保護者の対応の向上を図る観点から、保護者に対してペレントトレーニング等の支援を行っている	○				ペレントトレーニングを検討する。
	㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			説明時に運営規程等に併せて説明・説明している。	
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、必要な助言と支援を行っている	○			定期的に個人面談を行い、必要に応じて支援を行っている。	
	㉜ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催するなどにより、保護者同士の連携を支援している					近いうちに開催したいが、保護者会がまだ少ないため、まずは保護者同士の連携を支援していきたい。
	㉝ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情が来た場合に迅速かつ適切に対応している	○			相談に対応し、迅速丁寧に対応できるようにしている。	
	㉞ 定期的に会報等を送付し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			Instagram、LINE、メールなどを利用し、子どもや保護者に発信している。	
	㉟ 個人情報に十分注意している	○			研修に受講し、研修後に個人情報を扱う際の注意点を再確認している。	
	㊱ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			障がい特性に応じて工夫を工夫している。	
	㊲ 事業所の行事に地域住民も招待する等地域に開かれた事業運営を図っている					今後前向きに検討していく。
非常時の対応	㊳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			各種マニュアルは策定済みである。	
	㊴ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、防災などの必要訓練を行っている	○			定期的に避難訓練や防災訓練を実施している。	
	㊵ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応している	○			定期的に伝達研修を行っている。	
	㊶ どのような場合でも虐待の疑いがある場合、速やかに対応し、児童相談所や警察等へ通報し、必要に応じて児童相談所や警察等と連携して対応している	○			定期的に、身体検査を行う場合を説明し、同意を得ている。	
	㊷ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応を行っている	○			医師から、アレルギーの情報を提供している。	必要に応じて、医師の指示書を出している。
㊸ ヒヤリット事例集を作成して事業所内で共有している	○			記録を残し、職員間の認知度を高めています。		

この事業所における自己評価結果（公表）は、事業所全体で行った自己評価です。